

第13回 高知大学 物部キャンパスフォーラム

森林の多面的機能を 科学する

治山・水源涵養・川-海とのつながり

日 時: 2017年1月22日(日) 13:00~17:00

場 所: 高知大学 物部キャンパス (農林海洋科学部 5-1教室)

参加費: 無料 (事前申込み不要、無料駐車場あり)



主催 物部キャンパスフォーラム実施委員会

共催 高知大学農林海洋科学部後援会

後援 四国森林管理局、高知県、南国市、香美市、香南市、大豊町、南国市教育委員会、高知県商工会議所連合会、高知県漁業協同組合連合会

ごあんない

森林は動植物の生息空間であるとともに、木材をはじめとする有益な資源を産出する場ではありますが、その下流にある里・川・海にもさまざまな恵みをもたらしています。近年は、森林のもつこのような多面的機能の重要性に目が向けられています。それでは、森林の多面的機能とはどのようなもので、どのように生み出されているのでしょうか。また、そうした森林の機能や価値を維持するには、どのようなことが大切なのでしょうか。高知県は日本一の森林率を誇っており、森林との関わりが大きい地域です。今回の物部キャンパスフォーラムでは森林の多面的機能について取り上げ、国内、とくに高知県内の森林の現状をふまえながら、ご来場の皆様方と議論します。

プログラム

- 開会挨拶: 13:00-13:10 高知大学農林海洋科学部学部長 尾形凡生

- 講演: 13:10-15:50 (各講演30分、質疑応答をふくむ)
 1. 「森林の多面的機能と林野行政」 林野庁四国森林管理局 計画保全部長 森谷克彦
 2. 「持続的な森林管理と伐出技術、その課題と展望」
高知大学自然科学系農学部門教授 後藤 純一 (森林工学)
 3. 「森林の土砂流出防止機能と人工林の管理」
高知大学自然科学系農学部門教授 塚本 次郎 (森林生態学)
 4. 「森林の存在が山地からの水・土砂流出に与える影響」
高知大学自然科学系農学部門教授 笹原 克夫 (砂防学)
 5. 「山から供給される栄養塩が河川および沿岸域の基礎生産に与える影響」
高知大学総合科学系黒潮圏科学部門教授 深見 公雄 (海洋環境保全学)

- パネルディスカッション: 16:00-17:00
会場の皆様のご意見も伺いながら、講師と司会者によるディスカッションを行います。
司会: 高知大学自然科学系農学部門准教授 増田 和也
パネリスト: 森谷克彦、後藤純一、塚本次郎、笹原克夫、深見公雄



お問い合わせ先 高知大学 総務部 物部総務課 総務係 (〒783-8502 南国市物部乙200)
電話: 088-864-5114 FAX: 088-864-5200 Eメール: km03@kochi-u.ac.jp